

都内の感染状況のモニタリングについて（6月2日（火）現在）

（感染（疫学的）状況）

① 新規陽性者数 16.3人（+3.4人）

- ・ 7日間移動平均では、緩和の目安である20人を下回っているものの、本日の陽性者数34人は警戒すべき状況（30人以上は5月14日以来）

② 新規陽性者に係る接触歴等不明率 50.0%（△6.7%ポイント）

- ・ 接触歴が判明した方が増えたことにより数値が低下。この他、不明者のうち夜の街関連が一定数確認されている。

③ 週単位の陽性者増加比 2.15（+0.27%ポイント）

- ・ 先週末から、1を超えて2に近い水準で推移するとともに、本日は2を超える数値となっており、警戒すべき状況
- ・ 前週に比べて陽性患者の増加傾向が継続しているかどうかを見るための指標であり、一定期間（1週間程度）の傾向を確認する必要がある。

（医療提供体制）

④ 重症患者数 26人（△3人）

- ・ 全体として低下傾向で推移。レベル1の100床に対しても十分低い水準。

⑤ 入院患者数 312人（△17人）

- ・ 若干の増減はあるが基本的には低下傾向。レベル1の1000床に対しても十分低い水準。

（監視（モニタリング）体制）

⑥ 陽性率 1日速報値 2.1%（+0.2%ポイント）

- ・ 先週後半から若干陽性率が上昇傾向にある。GW明けの感染拡大の状況に留意する必要。検査件数は十分確保されていると考えられる。

⑦ 相談件数 1日速報値 938件（+16件）

- ・ 減少傾向が続いたのち、このところ微増傾向。